

## 令和7年度第3回千葉南警察署協議会

- 1 開催日  
令和7年12月2日（火曜日）
- 2 開催場所  
千葉南警察署
- 3 出席者  
・協議会委員8人                  ・警察署9人
- 4 業務報告  
令和7年中の災害対策について
- 5 警察署からの諮問事項  
なし
- 6 委員からの要望・意見等

【要望】災害時の活動は、多岐にわたり大変だと思いました。

2019年の大雨や東日本大震災の際、信号機がストップしたので、まず、交通関係に力を入れてほしいです。

【回答】千葉南警察署管内には、現在、177基の信号機があり、そのうち、旧外房有料道路の辺田交差点、大網街道の鎌取十字路、野田十字路、鎌取インター出口交差点の4箇所に、災害時などに電力供給がストップしても自動的に発動機に供給元が切り替わり信号機が稼働する自動起動式発動発電機が備え付けられています。

この自動起動式信号機は、2018年から2024年にかけて、順次、配備されています。

その他にも、災害時等には、人命救助とのバランスを考え、交通の混乱や事故を防止しながら災害応急対策が円滑に行われるように、警察署に配備されている可搬式の発動発電機を用いて信号機を稼働します。

【質問】発動機付きの信号機があるということで非常に安心しましたが、今後、設置数が増える予定はありますか。

【回答】今のところ予定はありません。今後の道路環境などの変化により、増設される可能性はあります。

【要望】次に、災害時の治安面ということで、見回り等に力を入れてほしいです。

【回答】警察では、災害警備実施計画書を作成しており、その中で、災害発生箇所や地域住民の方へのパトロールを実施する旨を明記し、意思統一を図っています。

大規模災害が発生した場合は、県本部の応援を受けて、救助活動、避難所への立ち寄り警戒、パトロールなどの犯罪抑止活動を推進してまいります。

【質問】 災害危険箇所の資料化とありますが、作成された資料は、ホームページ等で外部に公表することはないのでしょうか。

【回答】 資料は、令和元年１０月の記録的大雨以降、被害の大小を問わず、実際に１１０番通報のあった場所について、警察署内で情報共有を図ることを目的にして作成しています。資料の一部について、千葉南警察署ホームページへの掲載を検討したいと思います。

【質問】 外国人に関わる災害対策についてですが、外国人従業員が働く企業に対して、今後、何らかの活動をする予定はありますか。

【回答】 企業に伺い外国人従業員に対する防災講話を実施しているので、引き続き、企業にコンタクトを取らせていただき、防災講話等を実施したいと思います。

【意見】 さまざまな国籍の方や日本語が話せない外国人の方がいるので、言葉の問題は、非常に難しいと思いますが、災害時など、携帯の翻訳アプリを活用できるのではないのでしょうか。

【回答】 今後、翻訳アプリの活用を含めて広報を実施していきたいと思います。

【質問】 現在、千葉市の防災井戸協力の家に登録をしていますが、重機を取扱っているの  
で、企業として災害時に協力できる登録はありますか。

【回答】 確認をして、後日、回答させていただきます。

【質問】 昨今、害獣による農作物や人的被害等が深刻になっていますが、千葉南署では、  
どのような対応を実施し、今後、どのような対策を検討しているか事例がありましたらお聞かせください。

【回答】 当署管内においてもイノシシやサルなどの目撃情報があります。

主に、土気町、高田町、平川町、大木戸町、小食土町など管内東側のエリアでの目撃情報が多くあり、農作物が荒らされるなどの被害や走行車両と接触する交通事故などの把握がありますが、現在のところ、人的被害の把握はありません。

イノシシの目撃情報などの通報が警察にあった場合は、負傷者の救護措置や近隣住民の避難措置及び交通規制、広報による注意喚起を行うなどと併せて、市への情報提供を行います。

駆除等に関しては市などの自治体が行い、警察は支援という立ち位置ですが、市や関係機関などと緊密に連携を取らせていただいて、地域住民の方が不安にならない対応をしていきたいと思います。

【質問】 弊社近辺でもイノシシやサルなどが多数目撃しますが、相談先が千葉市なのか、警察なのか苦慮したことがあるので、見かけた際の連絡先を教えてください。

【回答】 警察でも市と情報共有、連携して対応しているので、イノシシなどを見かけた際は近づかず、距離を取った安全な場所から１１０番通報してください。

警察は２４時間態勢ですので、いち早く、現場確認に行けるのは１１０番通報だ

と思います。千葉南警察署代表電話に連絡していただいても構いません。

警察官が状況を確認して、市と情報共有を図っていきます。

【質問】通勤で、おゆみ野本納線を利用していますが、車とぶつかった動物の死骸を見かけることが多くあります。

もしも、車で動物とぶつかってしまった場合は、どのような対応を取ればよいですか。

【回答】交通事故として取り扱いますので、警察に通報してください。

動物の死骸は、そのまま放置していると別の事故につながる可能性があるので、邪魔にならない場所に移動した上で、道路管理者等に回収依頼をして、安全を確保しています。

【質問】誉田2丁目の明大踏切付近の交差点ですが、住宅地から小学校に登校するために道路を横断する児童と通行する車が交差する場所があります。踏切にはセーフティウォッチャーがいますが、この場所には誰もいません。交通事故が心配なので、何か良い対策はありますか。

【回答】この場所は、高田インターへの抜け道となっている道路で、朝の通勤時間は、踏切を北上する車両が多いところ です。

道路における危険防止と交通の安全と円滑の双方の均衡を図るために、まずは道路対策を講じるべきと考えています。

現場の交差点は、車両と歩行者双方への注意喚起により、危険防止措置が期待できるため、道路管理者に「学童注意」などの路面標示を依頼しています。

【質問】工業団地方面から誉田中学校正門前の踏切を渡ろうとすると、道が狭く、対向車が踏切を通行し終わった後でないと行けないという状態です。

登下校時は、歩行者も多いので、危険な状況が発生しているかもしれません。

警察で把握していることや、考えられている対策はありますか。

【回答】登下校時の見守り活動は地域課で対応しています。

全ての場所に配置できるわけではありませんが、児童や生徒が交通事故に遭う危険性を防止するため、登下校時、赤色灯を点灯したパトカーでの警戒、交差点等に警察官を配置するなどの見守り活動を実施しています。

本件の危険箇所情報については、交番などの勤務員間で情報共有し、交通事故防止に向けた取組を実施したいと思います。

## 7 答申等に対する措置結果

なし

## 8 その他

協議会開催前に逮捕術模擬試合、災害装備品の展示説明を実施した。